



黒潮スポーツ少年団

## くろしお杯球技大会(ソフトボール)で黒潮スポーツ少年団が入賞

11月2日(日)、土佐西南大規模公園の東グラウンドで開催された「くろしお杯球技大会」において、黒潮スポーツ少年団が3位に入賞しました。当日、子どもたちはこれまで積み重ねてきた練習の成果を存分に發揮し、粘り強いプレーで最後まで諦めずに戦いました。ホームでの開催ということもあり、選手の家族や地域の方の声援も大きな励みとなった大会でした。

同少年団の吉門彩人キャプテンは、「準決勝では負けてしまったけれど、ホームランを打つことができて、チームも盛り上がったのでとても嬉しかった。引退まで残り1大会となりましたが、最後までチームのみんなと練習や試合に励みたい」と笑顔で語りました。



写真を見る地域の人たち

## 駅びらき

10月24日(金)、長い期間閉じられていた土佐佐賀駅のシャッターを開け、佐賀中学校2年生による「駅びらき」が行われました。

学生らは総合学習のテーマ「佐賀活性化」の一環としてこのイベントを企画。シャッターを開けた場所には、旧佐賀町の写真が展示されたほか、グループごとに学んだことをまとめた掲示物も並びました。当日は、「コーヒーショップ駅」のコーヒーも販売され、多くの人が賑わいました。

同中学校2年生の喜多ひなたさんと土居夕月妃さんは、「朝、昼、晩とまではいかなくても、人が集まり、安心できる憩いの場になってほしい」と話しました。



交流の様子

## 佐賀小学校・中学校、大方高校防災訓練

10月21日(火)、佐賀小学校・中学校、大方高校の全児童・生徒が、合同防災学習を行いました。同学習は、高校生の防災への取り組みについて見て学び、防災意識を高めるとともに、災害時に連携して助け合う力を身に付けることを目的としています。

当日は、津波被害のシミュレーションや大方高校による活動報告を聞いた後、津波の速さを体験するプログラムや避難訓練を行いました。

同小学校6年生の土居くるみさんは、「アプリを使ってシミュレーションしながら訓練を行い、実際に逃げ切れるか確認できた。津波速さ体験では、津波の速さが分かった」と話しました。



学習の様子

## 踏切事故防止キャンペーン

11月4日(火)、土佐くろしお鉄道(株)が入野踏切で「踏切事故防止キャンペーン」踏切脱出訓練を行いました。同訓練には、大方高校1年生の参加のほか、四国運輸局や中村警察署、四万十自動車学校の職員らが参加しました。開始式の後、入野踏切へ移動し、車両が踏切内で立ち往生した際の脱出方法や、発炎筒の使い方などを体験しました。

同社鉄道部部長の刈谷兼一さんは、「黒潮町は踏切が多く、通る機会が多い。渡る際は必ず一時停止と安全確認を守ってほしい。今回の訓練で学んだことを、友だちや家族にも伝えて、多くの人に対処方法を知ってもらいたい」と話しました。